

令和7年度第3学期始業式 式辞

令和8年、2026年が始まりました。そして、本日は始業式、令和7年度の仕上げの3学期のスタートです。

今年は、十二支で言うと午年、もう少し詳しく、十干と十二支を組み合わせた言い方では、「丙（へい）」という字に「午」で、「丙午（ひのえうま）」の年です。「丙（ひのえ）」は、「火」の要素を持ち、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表しており、情熱や決断力を象徴しているそうです。「午（うま）」は成長や成功、勢いの強さを表し、繁栄の象徴とされています。また、「午」も「丙」と同じく「火」の要素を持っています。このように「丙午」は火の力が重なることで、情熱や変化を象徴しエネルギーに満ちた年になると言われています。縁起を担ぎ、物事をポジティブに捉えて、今年を大きな飛躍の年にしましょう。新しいことや諦めかけていたことに是非挑戦してみてください。今年が、皆さんにとって、やる気に満ちあふれて行動し、人間的に更に成長する年になることを願っています。

さて、午（馬）と言えば、昨年12月に、観光親善大使を務めるほど愛南町を愛してやまない早見和真さん原作のテレビドラマ『ザ・ロイヤルファミリー』が最終回を迎えるました。山本周五郎賞とJRA賞馬事文化賞を受賞した原作のすばらしさをベースに、妻夫木聰さんをはじめとするキャストの熱演、映像美、玉置浩二さんの主題歌など全ての要素が相乗効果となって、私たち5,60代のおじさんの目頭が熱くなるドラマでした。私が初めて原作を読んだのは数年前、学校の図書館で借りた単行本でしたので、最終回の後文庫本を購入し、この冬休みに久しぶりに読み返しました。作品のテーマは、端的に言うと、「継承」と「家族」です。

生徒の皆さん、あなたが思う南高の良さはどんなところですか。学校全体の「家族」のような雰囲気もその一つでしょう。120年近い歴史を誇るこの南高には様々な良いところがあります。脈々と息づく伝統の中で、「これは」と思う要素を、この午年に皆さん的情熱とエネルギーで進化・発展させ、次の世代へと「継承」していってください。

3学期は、次の年度に向けた0学期ともよく言われます。皆さんがあれぞれに目的意識を持って充実した3学期を過ごし、そして、達成感とともに学年を終えることを願って、式辞といたします。